平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月1日

上場会社名　TOA株式会社　　上場取引所　東 大
コード番号　6809　URL　http://www.toa.co.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 井谷　憲次
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長　(氏名) 田中　利秀　TEL 078-303-5620

四半期報告書提出予定日　平成25年2月14日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	25,396	1.4	2,147	1.6	2,306	9.2	1,349	15.9
24年3月期第3四半期	25,044	10.4	2,113	106.6	2,112	125.7	1,164	731.5

(注)包括利益　25年3月期第3四半期　1,640百万円　(108.4%)　24年3月期第3四半期　787百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	39.84	―
24年3月期第3四半期	34.38	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	39,057	30,579	75.4
24年3月期	38,226	29,643	74.9

(参考) 自己資本　25年3月期第3四半期　29,467百万円　24年3月期　28,640百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	―	10.00	―	10.00	20.00
25年3月期	―	10.00	―		
25年3月期(予想)				10.00	20.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成25年 3月期の連結業績予想(平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	37,000	2.9	3,500	2.9	3,500	0.8	2,100	3.0	62.01

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 有
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期3Q	35,536,635 株	24年3月期	35,536,635 株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	1,669,363 株	24年3月期	1,667,481 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期3Q	33,867,995 株	24年3月期3Q	33,870,454 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1.　当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 …… 3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
2.　サマリー情報(注記事項)に関する情報 …… 3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
3.　四半期連結財務諸表 …… 4
(1) 四半期連結貸借対照表 …… 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 5
四半期連結損益計算書 …… 5
四半期連結包括利益計算書 …… 6
(3) 継続企業の前提に関する注記 …… 7
(4) セグメント情報等 …… 7
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 7

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第３四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く環境は、国内では震災復興需要などによる景気回復傾向がみられるものの、海外では、欧州の財政危機問題や中国経済の減速などもあり依然不透明な状況が続いております。

このような環境の下、当社グループでは商品企画から開発、生産、販売までを世界各地域で行う地域事業体制の強化を進めております。また、国内市場ではネットワークを利用した拡声、監視システムなど、音と映像の高度なソリューションの提供を進めております。

これらの結果、売上高は25,396百万円（前年同四半期比＋352百万円、1.4％増）となりました。利益については販売費及び一般管理費の増加はあったものの、売上の伸張などにより営業利益は2,147百万円(前年同四半期比＋34百万円、1.6％増)となりました。経常利益は2,306百万円(前年同四半期比＋193百万円、9.2％増)、四半期純利益は1,349百万円(前年同四半期比＋184百万円、15.9％増)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

（日本）

売上高は17,085百万円（前年同四半期比＋584百万円、3.5％増）、セグメント利益（営業利益）は3,618百万円（前年同四半期比＋409百万円、12.8％増）となりました。

街頭、学校、工場向けのセキュリティ設備や非常用放送設備が堅調に推移しました。また利益面では、販売費及び一般管理費の増加はあったものの、売上の伸張などにより、セグメント利益は増加しました。

（アメリカ）

売上高は1,598百万円（前年同四半期比＋130百万円、8.9％増）、セグメント利益（営業利益）は33百万円（前年同四半期比＋13百万円、63.6％増）となりました。

地域に密着した商品企画や販売体制の再構築に取り組み、売上高、セグメント利益は増加しました。

（欧州・ロシア）

売上高は2,836百万円（前年同四半期比△65百万円、2.3％減）、セグメント利益（営業利益）は304百万円（前年同四半期比△123百万円、28.8％減）となりました。

欧州を中心に、中近東、東欧、ロシアにも注力し販売は堅調に推移しましたが、為替の円高の影響により邦貨換算後の売上高は減少しました。利益面においても為替の円高の影響がありセグメント利益は減少しました。

（アジア・パシフィック）

売上高は2,861百万円（前年同四半期比＋271百万円、10.5％増）、セグメント利益（営業利益）は387百万円（前年同四半期比＋5百万円、1.5％増）となりました。

インドネシア・ジャカルタ市に地域専用商品を扱う研究開発拠点を設立し、地域に密着した販売活動をおこなったことなどにより売上は増加しました。利益面では、営業費用の増加はありましたが、売上高の増加が固定費の増加を吸収し、セグメント利益は増加しました。

（中国・東アジア）

売上高は1,014百万円（前年同四半期比△568百万円、35.9％減）、セグメント利益（営業利益）は15百万円（前年同四半期比△160百万円、91.3％減）となりました。

中国では官公庁需要の遅延など市場そのものが停滞した影響もあり売上は伸び悩みました。利益面では、売上減少の影響を受けてセグメント利益は減少しました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

当第３四半期連結会計期間末における総資産は39,057百万円となり、期首に比べ831百万円の増加となりました。増加の主な要因は、資産の部ではたな卸資産が1,647百万円増加したことなどによるものです。負債及び純資産の部では、仕入債務の増加105百万円や、四半期純利益を1,349百万円計上したことなどにより増加しました。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

平成25年３月期の通期の業績予想につきましては、「平成24年３月期決算短信」で公表しております当初予想から変更しておりません。

２．サマリー情報(注記事項)に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

・税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

・減価償却方法の変更

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第１四半期連結会計期間より、平成24年４月１日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

この変更に伴う損益に与える影響額は軽微であります。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成24年12月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,327	11,947
受取手形及び売掛金	8,082	6,371
有価証券	900	1,500
商品及び製品	4,108	5,317
仕掛品	882	1,202
原材料及び貯蔵品	1,619	1,738
その他	938	1,240
貸倒引当金	△109	△102
流動資産合計	28,750	29,215
固定資産		
有形固定資産	6,093	6,387
無形固定資産	812	745
投資その他の資産	2,570	2,708
固定資産合計	9,475	9,841
資産合計	38,226	39,057
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,001	3,106
短期借入金	222	446
未払法人税等	586	366
引当金	333	442
その他	1,963	1,594
流動負債合計	6,106	5,957
固定負債		
長期借入金	53	52
退職給付引当金	1,752	1,797
その他	669	670
固定負債合計	2,476	2,520
負債合計	8,582	8,477
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,279	5,279
資本剰余金	6,866	6,866
利益剰余金	19,113	19,785
自己株式	△967	△968
株主資本合計	30,292	30,963
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	601	758
為替換算調整勘定	△2,253	△2,253
その他の包括利益累計額合計	△1,651	△1,495
少数株主持分	1,002	1,111
純資産合計	29,643	30,579
負債純資産合計	38,226	39,057

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第３四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日）
売上高	25,044	25,396
売上原価	13,307	13,264
売上総利益	11,736	12,132
販売費及び一般管理費	9,623	9,985
営業利益	2,113	2,147
営業外収益		
受取利息	20	16
受取配当金	34	36
為替差益	－	44
その他	79	81
営業外収益合計	133	179
営業外費用		
支払利息	10	12
為替差損	115	－
その他	8	8
営業外費用合計	134	20
経常利益	2,112	2,306
税金等調整前四半期純利益	2,112	2,306
法人税等	803	807
少数株主損益調整前四半期純利益	1,309	1,499
少数株主利益	144	149
四半期純利益	1,164	1,349

四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益	1,309	1,499
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△120	156
為替換算調整勘定	△401	△15
その他の包括利益合計	△522	141
四半期包括利益	787	1,640
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	715	1,505
少数株主に係る四半期包括利益	71	134

（３）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（４）セグメント情報等

【セグメント情報】

Ⅰ　前第３四半期連結累計期間(自　平成23年４月１日　至　平成23年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント						調整額（注）	四半期連結損益計算書計上額
	日本	アメリカ	欧州・ロシア	アジア・パシフィック	中国・東アジア	計		
売上高								
外部顧客への売上高	16,500	1,468	2,902	2,589	1,582	25,044	―	25,044
セグメント間の内部売上高又は振替高	3,652	24	1	2,074	1,829	7,581	△7,581	―
計	20,153	1,492	2,904	4,663	3,412	32,625	△7,581	25,044
セグメント利益（営業利益）	3,209	20	427	381	175	4,214	△2,101	2,113

（注）　セグメント利益の調整額△2,101百万円には、セグメント間取引消去△5百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△2,095百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の管理部門に係る費用であります。

Ⅱ　当第３四半期連結累計期間(自　平成24年４月１日　至　平成24年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント						調整額（注）	四半期連結損益計算書計上額
	日本	アメリカ	欧州・ロシア	アジア・パシフィック	中国・東アジア	計		
売上高								
外部顧客への売上高	17,085	1,598	2,836	2,861	1,014	25,396	―	25,396
セグメント間の内部売上高又は振替高	3,627	46	5	2,025	1,847	7,553	△7,553	―
計	20,713	1,645	2,842	4,886	2,862	32,950	△7,553	25,396
セグメント利益（営業利益）	3,618	33	304	387	15	4,359	△2,212	2,147

（注）　セグメント利益の調整額△2,212百万円には、セグメント間取引消去43百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△2,255百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の管理部門に係る費用であります。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。